

ひこね 市議会だより



国宝・彦根城
築城410年祭が
開幕しました

平成29年2月臨時会 (2月16日)

平成29年2月定例会 (2月27日~3月23日)

- 特集 議会報告会…………… 2~4
- 議会で決まったこと…………… 5~12
- 代表質問…………… 13~14
- 個人質問…………… 15~23
- 委員会視察報告…………… 24
- お知らせ…………… 25~26



第19・20・21回
議会報告会

わかりやすく開かれた議会をめざして

～議会報告会を市内3会場で開催～

平成29年2月18日、21日（2会場）に「彦根市議会議会報告会」を開催しました。第1部では、議会での議論の過程や結果を市議会議員が説明し、第2部では会場ごとのテーマで意見交換を行いました。どの会場でも、たくさんのご質問やご意見をいただき、参加者の皆さまの思いや考えをお聞きすることができました。

主な質疑応答

Q 国体関連等、ビッグ事業の話は多いが、福祉関連の話は少ない。少子高齢化の中「福祉」は重要。次世代へ向けての施策方針は。

A そのことは充分議論している。老若男女を問わない健康生活づくりや、子育て支援等の諸施策を鋭意検討中。

Q 彦根城入山者数の目標である90万人の達成は可能か。

A 大河ドラマや410年祭に関連する諸施策の効果があり、充分可能と考える。

Q 410年祭等の主要事業は、お城を中心とした旧市内の開催ばかりではないか。

A 主要事業の中には稲枝地区での開催もあり、市全体としても事業計画などそれぞれの地域において推進していると考え。また、議会報告会もテーマ設定を含め稲枝地区で開催している。

Q 鳥居本学区の幼児教育施設は保育園だけである。保育園は保護者とともに働いていないと入園できないため、校外的幼稚園を勧められたが、見解は。

A 鳥居本学区の就学前の子どもの現状は理解した。他学区でも同様の課題もあり、今後議会としても考えていきたい。

参加者の感想

- ・テーマによっては、子ども連れでも参加しやすい環境にしてみたい。
- ・思い切って参加してみたが、市の事業や市民の皆さんの意見をきくことができて、良かった。
- ・意見交換で出た地元住民の思いを今一度くみとってもらいたい。
- ・もっと若い世代の参加があればよい。
- ・報告の内容が大きいので、細部に時間をかけて意見交換できるようにしてほしい。
- ・参加者が少なかったのが残念。
- ・開催周知の方法をもっと工夫してほしい。
- ・身近な話題もあり、有意義だった。

寄せられたご意見やご提言をこれからの議会活動に生かし、さらなる議会の活性化につなげてまいります。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

第20回 2月21日 南地区公民館 参加者17人 意見交換テーマ「防災のまちづくりについて」

(主な意見)
各集落で、自主防災セミナーの開催義務化が必要ではないか。



第1部報告テーマ

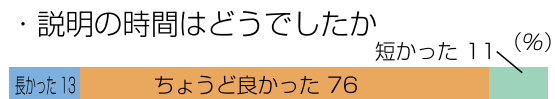
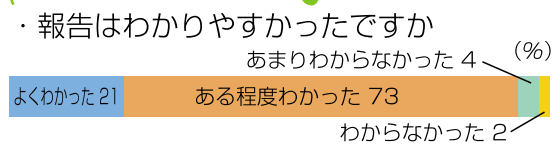
- 第79回国民体育大会および新市民体育センター整備について
- 国宝・彦根城築城410年祭について
- 平成29年NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」を核とした観光振興について
- 稲枝駅整備および西口開発について
- 彦根城世界遺産登録推進事業について
- 認定こども園について

第19回 2月18日 鳥居本地区公民館 参加者17人 意見交換テーマ「小中一貫教育と学力向上について」

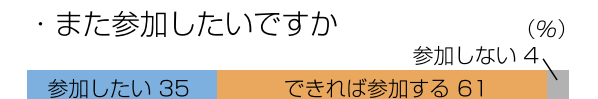
(主な意見)
校区外からの通学の現状を踏まえ、通学バスを運行できないか。



アンケートから



アンケートから



第21回 2月21日 稲枝地区公民館 参加者39人 意見交換テーマ「稲枝駅整備および西口開発について」

(主な意見)
法線を変えることに対して稲枝地区としては反対である。



第18回
議会報告会

意見交換
高校生×議員

平成29年1月28日に市議会広聴委員会が「第18回彦根市議会 議会報告会」を開催しました。彦根東高等学校新聞部の皆さまにお集まりいただき、「参議院議員通常選挙からみた若者の投票行動について」をテーマにワークショップ形式での意見交換を行いました。



和気あいあいとした雰囲気の中で
始まった意見交換

「若者向けの政策を打ち出してほしい」、「ネットやLINEなどで投票できるといいな」、「ほしい」、「学校でさらに選挙や政治の教育を」などの意見が出ました。いただいた意見は今後の参考にさせていただきますとともに、彦根市選挙管理委員会にも情報提供しました。



グループの意見を発表



参加者の感想

- ・ 実際に政治に携わる人に会い、話すという機会が増えると、若者もより政治参加できると思った。
- ・ 議員は、想像していたよりずっと話しやすい気さくな方ばかりだったので、自然体で参加できた。
- ・ ワークショップでは、自分の意見に改めて気づき、ふせんに書き出していく作業中にも自分の考えが深まるのがわかった。
- ・ 何よりも、議員との距離が近かったのが印象的だった。
- ・ 政治に特別興味はなかったが、ワークショップでくつがえった。自分の1票に責任があり、その1票が国や地域の方針を変えると実感できた。



終了後、取材を受ける議員

2月臨時会の結果・個人質疑

2月16日の2月臨時会の結果についてお知らせします。
 工事請負契約を締結することにつき議決を求める議案が2件提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

2月臨時会の結果

市庁舎立体駐車場建設工事契約

契約金額1億8327万6千円

来庁者用の駐車場として本庁舎の後面に立体駐車場を建設する工事請負契約です。（議案第1号）

彦根駅西口エスカレーター改修工事契約

契約金額2億2323万6千円

彦根駅西口の老朽化したエスカレーターをユニバーサルデザインに配慮したものに更新し、下りエスカレーターを増設する工事請負契約です。（議案第2号）

【議決結果】（○：賛成 ●：反対 -：議長）

議案番号	件名	結果	谷口 豊隆	獅山 向洋	北川 元氣	辻 真理子	夏川 嘉一郎	小川 喜一郎	赤井 康彦	安藤 博	八木 嘉之	矢吹 安子	和田 一繁	野村 博雄	杉原 祥浩	小菅 雅奎	上杉 正敏	中野 正剛	山内 善勇	山田 多津子	奥野 嘉己	長崎 任男	安澤 正倫	安居 正倫	西川 正義	馬場 和子		
議案第1号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○
議案第2号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

A 平均落札率をみても
 特段高くない

A 入札停止措置の効力は0
 社が入札に参加できるのか。

Q 0社は安全管理措置の不
 適切により生じた転落死亡事
 故で入札停止措置中だが、1
 社が入札に参加できるのか。

A 入札参加資格においては
 代表者が異なれば別の法人。
 入札参加資格登録時に必要で
 ある県の経営事項審査結果通
 知書写しでも明らかに別会社。

A 入札参加資格においては
 代表者が異なれば別の法人。
 入札参加資格登録時に必要で
 ある県の経営事項審査結果通
 知書写しでも明らかに別会社。

Q 市庁舎立体駐車場建設工事、
 彦根駅西口エスカレーター改
 修工事を0社のグループ会社
 である1社が落札された。1
 社の代表者は0社の取締役会
 長であり、所在地が同じであ
 ることから、両社は一体の組
 織と窺えるが市の認識は。



奥野 嘉己議員

Q 工事落札業者の
 高落札率連続への市の見解は

A 平均落札率をみても特段
 高くない、入札は適正に執行。
Q 社に対してのみ及ぶもの。
Q 1社は過去2年では高落
 札率が連続し、同種案件も連
 続受注しているが市の見解は。

落札した案件	落札率 (予定価格に対する 落札額の割合)	8 案件に入札し7件落札
市庁舎立体駐車場建設工事	98.0	
彦根駅西口エスカレーター改修工事	97.5	
城北小学校放課後児童クラブ室改築工事	92.5	
高宮小学校放課後児童クラブ室改築工事	95.6	
河瀬小学校放課後児童クラブ室改築工事	98.8	
旭森小学校放課後児童クラブ室改築工事	98.8	
市営大東団地第一期個別改善工事	97.8	

▲過去2年の落札実績

その他の質疑
 ・ 予定価格の設定につ
 いて
 ・ 最低制限価格の設定
 について



地元企業への優先発注を考慮したか



獅山 向洋議員

A 発注図面の特記仕様書に「各種下請業者、製造所等市内で供給できるものは極力市内業者を選定すること」と明記し、発注図面も市内業者の機種図面を採用し、配慮した。

Q エレベーター・エスカレーターの設定は、専門的な機械設備工事として分離発注を検討しなかったのか。

A 工期的に余裕がなく、技術的に困難なため分離発注は検討しなかった。

Q 東京都大田区の総合体育館建設では分離発注を行っていた。地元企業と随意契約する考えはなかったのか。

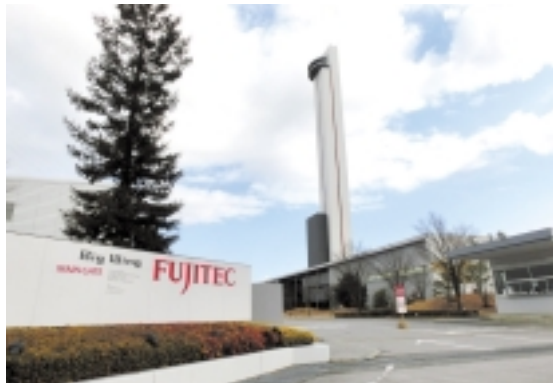
A 建築の躯体とエレベーター・エスカレーターとの接合部は建設業者が管理するので、機械部分に関する随意契約は考えなかった。

Q 地元企業に対する何らかの配慮を行ったのか。



市内業者採用について配慮した

- その他の質疑
- ・公共工事の入札および契約の適正化に関する法律について
 - ・市庁舎立体駐車場建設工事について



▲彦根市に本社があるフジテック㈱



低調な入札の結果を踏まえ発注方法見直しを



谷口 典隆議員

安価となることから一つの工事として発注することを考えている。しかし、少しでも多くの市内業者が入札に参加できるように発注方法を再度検討の対象にしたいと考えている。

Q 「市庁舎立体駐車場建設工事」および「彦根駅西口エスカレーター改修工事」に係る入札とともに、参加資格を有している業者数に比して、参加業者数が少ない低調な結果であった。今後、本庁舎増築棟の建設工事入札を控え、より多くの市内業者が参加できるようにスキームの練り直しや分離発注など、発注方法などを見直すべきではないか。

A 本庁舎増築棟の発注方法については、建物の一部を使用しながらの施工となることなどに加え、一括発注することなどで仮設費や管理費などの諸経費が、分離発注するよりも

少ない。

少ない。



多くの市内業者が参加できるように検討したい

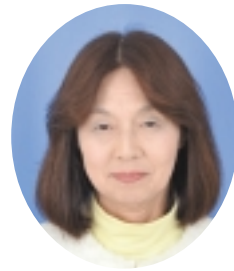
- その他の質疑
- ・市庁舎立体駐車場建設工事および彦根駅西口エスカレーター改修工事に係る入札への参加が低調となったことへの見解は



▲立体駐車場の建設に向け、解体工事が進む市庁舎北側の敷地



彦根駅西口エスカレーターは
地元調達優先か



眞理子議員

Q 地元調達を優先しているのか。
A 各種下請業者、製造所等市内で供給できるものについては、極力市内業者を選定することとしている。
Q エスカレーター本体の価格はいくらなのか。
A 請負者の工事費内訳書によると二基で8300万円である。
Q 工事中、歩道上の屋根や柱は撤去するのか。
A 工事に支障となる柱や屋根は撤去することになる。
Q 北側歩道は確保できるのか。
A 車道側に仮歩道を設ける。工事期間中に観光客が迷



▲彦根駅西口エスカレーター

A 極力市内業者を選定している

- その他の質疑
- ・バスの乗降客について
 - ・送迎の一般市民について
 - ・タクシ一の待機場について

新市民体育センター整備調査特別委員会 中間報告

2月20日に開催した第2回目の委員会では、担当部局から現在の進捗状況、建築設計委託業者の技術提案、今後のスケジュールについて説明があり、未買収地4筆についてある程度目処が立ったことや基本設計および実施設計委託業務候補者選定公募型プロポーザル審査の結果、株式会社石本建築事務所大阪支所が選定されたことの報告を受けた。

委員からは、地元の意見を取り入れるべきであり、図書館的機能が図面に反映されていないのでは、との質問があり、コミュニティスペースの中で配置をしていくとの答弁があった。

また、採用された業者の実績についての質問があり、東京都大田区の大田区総合体育館や茨城県日立市の日立市新中央体育館、福岡県春日市の春日総合スポーツセンター、和歌山県田辺市の田辺スポーツパークなどを手がけ、実績は十分であると考えるとの答弁があった。

他に、弓道場の規模は、国体が行われる基準を満たしているのかとの質問には、近的10人立、遠的3人立2射場で国体開催は可能との答弁があった。

また、業者から目標建設工事費54億円という数字が出た以上は、この数字がボーダーラインとなっていく事が予想され懸念されるとい意見や、県立盲学校の通学路でもあるので、同校への情報提供をお願いしたいとの意見もあった。



3月23日に閉会した2月定例会の結果についてお知らせします。

平成29年度彦根市一般会計予算案など予算関係は16件、「彦根市立認定こども園設置条例案」など条例関係17件、その他議案1件を審査し、原案のとおり可決しました。

2月定例会の結果

議会が注目する

平成29年度事業・条例

本庁舎耐震化整備事業

21億9309万9千円

市役所本庁舎の耐震補強と増改築工事を行うとともに、不足する駐車場を補うため、立体駐車場の建設を行います。耐震化工事期間中は、彦根駅西口仮庁舎（アル・プラザ彦根）に移転します。



JR稲枝駅周辺

整備事業

3億1754万2千円

JR稲枝駅の改築整備に併せて東西駅前広場やアクセス道路の整備を行います。



新市民体育

センター整備事業

1億4352万2千円

新しい市民体育センター整備にあたり、埋蔵文化財の発掘調査や設計業務等を行います。

駅舎バリアフリー化

促進事業

1億9365万8千円

彦根駅西口の上屋（シエルタ

ー）を更
新し、ま
ちの玄関
口にふさ
わしい景
観を整え
るとともに、
様々な人
が通行し
やすい環
境を整え
ます。



2 月 定 例 会 の 結 果

平田こども園の

運営・整備にかかる経費

1億9467万2千円

平成29年4月に開園した「彦根市立平田こども園」の運営に必要な施設の維持管理経費、人件費、給食業務の民間委託費や食材購入に要する経費、平田幼稚園舎の解体、園庭整備や南側導入道路などの外構工事を行う経費などです。

また、公立園としては初めて、幼稚園と保育所の両方の機能を持つ「幼保連携型認定こども園」を開園することから、保育料や一時預かり利用料等を定めた新たな条例案を可決しました。



国宝・彦根城

築城410年祭事業

1億7324万4千円

平成29年3月18日から12月10日まで開催される「国宝・彦根城築城410年祭」に必要な経費です。



「おんな城主直虎」

特別展開催事業

4542万9千円

現在放送中のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」に関連する巡回特別展を、井伊家と縁の深い彦根城博物館において、平成29年10月21日から11月28日まで開催します。

子どもの貧困対策に

新規予算配分

2248万9千円

子どもたちの学びと育ちを応援するため、子どもの貧困対策を含めた子ども・若者総合相談窓口を設置します。

また、市社会福祉協議会と連携・協力し、子どもたちを応援する地域づくり、人づくりを行い、子ども食堂などへの支援を行うほか、ひとり親家庭の中学生を対象に、学習支援や食事の提供を行い、地域の大人と触れ合う「居場所」や、生きづらさを抱える若者が一歩を踏み出す「居場所」の開設を行います。

さらに学校にスクールソーシャルワーカーを配置・派遣するほか、地域住民等の協力のもと、学習の場を創出します。



「子ども未来部」を

創設するため彦根市事務分掌

条例を改正

子ども・子育て支援に関する事務の意思決定の迅速化や組織運営の効率化を図るため、「子ども未来部」を新たに設置します。

予算常任委員会

過去最大の一般会計予算、442億8千万円
平成29年度当初予算案等を可決

予算常任委員会は、3月10日、13日、14日および21日に委員会を開催し、16件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号

【主な内容】

○議案第3号

Q ふるさと納税の返礼率を50%にした理由は。

A 引き上げることにより多くの寄附金が期待できる。

Q ひこねの城まつりの充実を。

A 大河ドラマの出演者にパレードの参加を交渉する。

Q 図書館の開館時間の延長は。

A 毎週水曜日のみ19時まで開館時間を延長する。

○議案第10号

Q 医療機器更新のため2億円計上しているが内容は。

A モニタリングシステムや、ガンマカメラ等を更新。

○議案第3号 討論

反対 景気回復が実感できない中、昨年度に引き続き大幅に増額となっていることから反対する。

賛成 過去最大の予算規模だが、子育て、福祉、教育、医療などに多く予算配分がされているため賛成する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

市民産業建設常任委員会

企業誘致の促進と新たな雇用の確保を
企業立地促進条例案等を可決

市民産業建設常任委員会は、3月15日、3月21日に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第14号、議案第19号、議案第21号、議案第24号、議案第28号、議案第36号

【主な内容】

○議案第14号

Q 適用範囲を広げた学術・開発研究機関とは。

A これまでは主にモノづくり企業の研究機関などを想定していたが、滋賀大にデータサイエンス学部が設置されたことに伴い、同学部と企業などがコラボして作られる企業などが想定される。

Q すでに取得した用地にも適用されるのか。

A 本条例の条件に合致すれば、過去5年の間に取得した用地には適用される。

Q 新たに市内に進出したい企業に対し、用地情報は市から提供できないのか。

A すでに県には情報提供はしているが、引き続き市でも商工会議所などあらゆるチャンネルを通じてPRに努める。

Q 昨年度実施したテレコールによる実績の活用は。

A 本市に興味を示した企業はすでに訪問済みであるが、本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

Q 本条例改正の内容を改めて情報提供する。

・議案はいずれも原案のとおり可決。

企画総務消防常任委員会

子ども未来部を設置

彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案等を可決

企画総務消防常任委員会は、3月16日に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第15号、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第20号、議案第26号、議案第27号

【主な内容】

○議案第15号

Q 子ども未来部という名称は全国的にはそういう呼称で呼ぶところが多いのか。

A 県内では、東近江市や米原市等がこの呼称を使っている。さらに全国的に見てもこの呼称が多いと聞いている。

○議案第16号

Q 育児休暇等について、分割取得については法律で3カ月を3つに分けるとしているが、今回の改正から6カ月を3つに分けるという理解で良いか。

A ご指摘のとおりである。さらに、介護休暇についても今までは6カ月を連続で取得しなければならなかったものが、今回から6カ月を3つに分けて取得することができる。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

初の公立認定こども園開所

彦根市立認定こども園設置条例案等を可決

福祉病院教育常任委員会は、3月17日に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第12号、議案第13号、議案第22号、議案第23号、議案第25号

【主な内容】

○議案第12号

Q 保育料の決め方についてと、平成29年度の入園人数について説明を求める。

A 1号認定の幼稚園については、保護者の所得に応じて7段階に分かれ、3、4、5歳児とも月額にするとほぼ7000円である。2号、3号認定の保育所については、3歳未満児、3歳児、4歳以上児は保護者の所得に応じて13段階に分かれている。基準利用時間が短い方は、10000〜20000円程度安い。初めての事業で課題にぶつかってもいけないが、まずはこの状況で進めていく。

平成29年度の入園人数は、2月28日現在だが、1号認定126人、2号認定28人、3号認定28人、合計182人である。

○議案第13号

Q 今は患者数が増えているが、少子化により患者が減って赤字ではなくなる。剰余金が出なくなった場合の対応は。

A 剰余金が出なかった場合は、翌年度積立ができない。人口減少に伴い、診療所収入が減って運営ができなくなった時は、基金を取り崩して運営していく。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

2月定例会の議決結果【全会一致で可決した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第 5号	平成29年度(2017年度)彦根市下水道事業特別会計予算	可決
議案第 6号	平成29年度(2017年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	可決
議案第 7号	平成29年度(2017年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第 8号	平成29年度(2017年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	可決
議案第 9号	平成29年度(2017年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第11号	平成29年度(2017年度)彦根市水道事業会計予算	可決
議案第12号	彦根市立認定こども園設置条例案	可決
議案第13号	彦根市休日急病診療所財政調整基金の設置、管理および処分に関する条例案	可決
議案第14号	彦根市企業立地促進条例案	可決
議案第15号	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案	可決
議案第16号	彦根市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
議案第17号	彦根市職員の自己啓発等休業に関する条例および彦根市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第18号	彦根市市税条例等の一部を改正する条例案	可決
議案第19号	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第20号	彦根市消防に関する手数料条例および彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第21号	彦根市日夏町財産区議会議員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第22号	彦根市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例案	可決
議案第23号	彦根市立児童遊園設置条例の一部を改正する条例案	可決
議案第24号	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決
議案第25号	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第26号	彦根市消防団条例の一部を改正する条例案	可決
議案第27号	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案	可決
議案第28号	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	可決
議案第30号	平成28年度(2016年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第31号	平成28年度(2016年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第32号	平成28年度(2016年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第33号	平成28年度(2016年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第34号	平成28年度(2016年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第35号	平成28年度(2016年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第36号	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決
委員会議案第1号	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決

【賛否が分かれた議案】 (○：賛成 ●：反対 -：議長)

議案番号	件名	結果	谷	獅	北	辻	夏	小	赤	安	八	矢	和	野	杉	小	上	中	山	山	奥	長	安	西	馬
			白	山	川	真	川	川	藤	木	吹	田	村	原	菅	野	内	田	野	野	野	野	野	野	野
議案第 3号	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計予算	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4号	平成29年度(2017年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成29年度(2017年度)彦根市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成28年度(2016年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





質問者 安澤 勝議員

公 政 会

Q 410年祭では何を残すのか

Q 彦根城築城400年祭の時には周年事業の一つとして、後世に残すべき貴重な文化財として、玄宮園を含む楽々園の修景保存整備事業がされた。今年の国宝・彦根城築城410年祭では何を残し、何を継続させ、どのように観光誘客に繋げるのか。そして、ポスト築城410祭に関しては、どう考えているのか。この先続く周年事業をどのように次世代に繋げるのか。

A 築城410年祭では最新技術を使った映像コンテンツを複数製作しており、これらを築城410年祭終了後にも有効に活用する。観光誘客だけでなく、継続した彦根の歴史・文化に対する市民の誇りの醸成にも繋がるものと考ええる。ポスト410年祭は、今後推進委員会で議論いただくが、一巡目国体もあり、市民の盛り上がり継続していく必要がある。



▲江戸期の城下町彦根 再現シアター（イメージ）

A 映像コンテンツを残し有効活用する

Q 市民への情報発信の重要性について

Q 普段から緊急情報を身近に感じていただき触れていただくことが、「いざ」という時に役立つ。現状の防犯・災害時だけのメール配信では、市民に深く浸透しておらず、もっと中身を充実させ強化すべき。災害発生を知らない人、気づいていない人、寝ている人たちにいち早く情報を知らせ、共有することが大切である。公政会の提案をどう受け止めているのか。

A 提案いただいているアプリ通信ラジオ、屋外拡声スピーカーの設置、災害弱者・各自治会長宅・公共施設への個別ラジオ配布については、何れの方法も災害時の情報提供手段をより多重化することができ、確実に情報を提供できることから有効であると考えられる。多額の費用を必要とするため、財源確保の点から現時点では困難だが、財源確保の研究を行っていく。



▲自治会設置の屋外拡声器

A 有効な方法だが今は財源がない



質問者 安藤 博議員

夢みらい

Q スイミングセンター 再整備の考えは

Q 平成36年開催の国民体育大会の主会場が彦根市に決定したことに伴い、市民体育センターやスイミングセンターは解体されることになる。滋賀県が、プール整備について各市町に意向調査を実施したところ、彦根市が再整備の要望を示した。県に相当割合の負担を求めることになるが、再整備を要望した考えを問う。

A 県立彦根総合運動場スイミングセンターは、元々本市にある県立施設であり、県による施設廃止に伴う機能確保として、本市での再整備を要望した。県の意向調査では、プールを市町が整備し、県も整備・運営経費を負担すること、国体・全国障害者スポーツ大会の開催に合わせた平成35年までの供用開始、50mおよび25mの屋内温水プールと飛込プールの整備が条件だが、本市としてはこれまで同様の考えに基づき回答した。



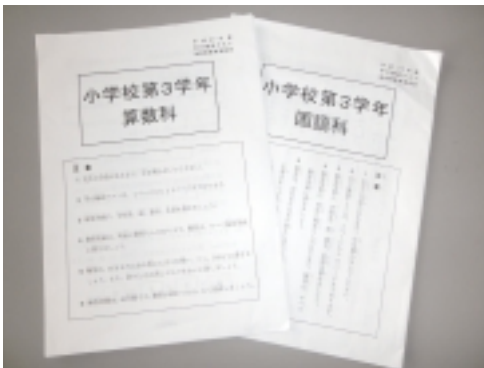
▲解体予定の現スイミングセンター

A 県に対し彦根市に 再整備を要望する

Q 学力テスト結果の 向上の要因は

Q 今年度を実施された全国学力・学習状況調査の結果は、向上したとのことだが、これまでの取組が功を奏したと考える。今回、向上した要因は何か。

A 今年度の全国学力・学習状況調査において、昨年度よりも、全国と比較して、その平均正答率を上回る科目が増えた。その大きな要因として、学力向上に向け、短期的な取組を推進する中で、現場の教員が本市の児童・生徒の力が十分に発揮できるような状態で調査が受けられるように準備するなど、各校が工夫した取組を行った結果であると考えている。しかし、この結果は、あくまでも学力向上の兆しが見えつつあるものと捉えている。「学力向上に向けた10の方策」に示している、長期的な取組の成果についての検証は、まだ先になると考えている。



▲学力テスト（イメージ）

A 各校が工夫した取組の 結果である



1月23日から24日の

大雪を受けて対策は



八木 嘉之議員

待機費用の設定など委託の雪
寒対策の充実を図るべきでは。
A 滋賀県や長浜市のように、
機械経費を固定費として支払
うことや除雪機械の発注者貸
与も検討が必要と考えている。

Q 直営の雪寒体制見直しは。
A 国や県との情報共有など
による効率的な除雪作業とな
るように除雪計画の検討を行う。

Q 日本気象協会と業務委託
契約を締結し、凍結防止剤の
散布方法を見直すべきでは。

A 詳細な情報を受けること
は迅速な対応をとるうえで必
要と認識している。予報の委
託契約も含め検討する。

Q 道路管理者にとらわれな
い除雪体制を構築すべきでは。

A 今回の降雪を教訓に、交
通の往来に影響をきたす主要
箇所や路線など効率的な除雪
体制の構築を検討する。

Q 除雪機械の発注者貸与や

A 効率的な除雪作業
となるように検討を行う



▲彦根市が保有する除雪車両など

その他の質問

・行政情報の適切な管
理に対する見解は



除雪体制の総括と融雪装置の設置を



山田多津子議員

たしたことから、まず市立病
院前や跨線橋などに融雪装置
を設置すべきだが見解は。
A 融雪装置は初期段階で消
雪する有効な手段だが維持管
理面等で設置は考えていない。

Q 彦根市の除雪対応は長浜
市や米原市と比べ遅いとの意
見が多い中、今冬の雪は記録
的な積雪で、さらに除雪作業
が追い付かず市民生活に混乱
を招き担当課には除雪に対す
る苦情が殺到した。市の除雪
体制のどこに問題があると総
括したか。

A 今般は短時間での積雪と、
除雪作業が通勤時間帯や日中
となったことなどの悪条件が
重なった。今回の総括として
除雪の初動体制の迅速化や県
との連携強化等を検証し、除
雪計画の見直しを検討する。

Q 今回の積雪で緊急車両の
走行や橋梁の通行に支障をき

A 初動段階での除雪計画の
見直しを検討



▶道路脇に設置された融雪装置
(市外での例)

その他の質問

・介護保険総合事業の
移行に伴う対応につ
いて

・市民負担の新市民体
育センター建設にな
っていないか



学校健診でピロリ菌検査を



赤井 康彦議員

自治体もあるが、保険の適用や国・県の補助が無いため、全額市の負担となることからピロリ菌検査の実施は考えていない。

Q 胃がんは、細菌であるピロリ菌が主な原因とされており、ピロリ菌感染の有無で、生涯の胃がんリスクは30から50倍違うと言われ、若い世代のうちから除菌治療をした方が予防効果が高いとされている。尿から簡単に調べることができピロリ菌検査を学校健診等で実施する考えはないか。

A ピロリ菌は口から感染するもので、抵抗力の弱い乳幼児や小学生は日常的に接する家族からの感染が多いと考えられている。中学生になると感染することがほとんどなくなることから中学生対象で検査および除菌を実施している



▲検診（イメージ）



全額市の負担となるため実施しない

その他の質問

- ・ガン検診受診率向上の対策は
- ・彦根市独自のガン対策推進条例を
- ・中川祿郎杯イングリッシュコンテスト



市長公約の日本一の福祉モデル都市は



獅山 向洋議員

Q 福祉モデル都市の順位を決定する要素は何か。
A ランキングがないため順位を決定する要素はない。

Q 「彦根を全国一の福祉モデル都市に！」は大久保市長の公約であるが、現時点で市長が考えている全国一の福祉モデル都市は何処か。

A ランキング付けするものではなく、答えられない。

Q 市長が全国で二番目、三番目の福祉モデル都市と考えている都市を答えられたい。

A ランキング付けするものではなく、答えられない。

Q 市長は、彦根市は現時点で福祉モデル都市として全国で何位と考えているのか。

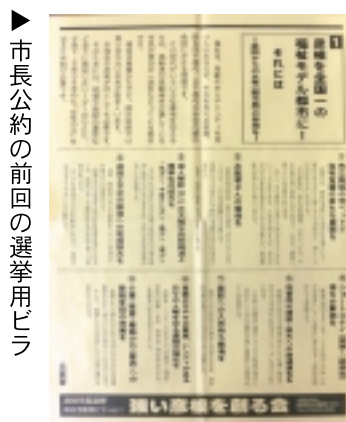
A ランキングが無いため私が何位と答えられるものではない。



ランキングはなく、順位は答えられない

その他の質問

- ・女性副市長登用の結果は
- ・彦根駅東口の官庁街構想の進捗状況は
- ・築城410年祭ポスター旗の作者は



▶市長公約の前の選挙用ビラ



伝統的建造物群保存地区の
市内での候補地は



杉原 祥浩議員

Q 伝統的建造物群保存地区に、歴史あるまちなみが残る鳥居本宿や高宮宿が選定されるための方策は。

A 中山道宿場町の鳥居本および高宮地区については、多くの歴史的な建造物が現存し、候補地の可能性はあるが、伝統的建造物群保存地区は、文化財建造物を保護するだけでなく、歴史的なまちなみを保存するためのものである。こうしたことから、そこにお住まいの方々のご理解とご協力が必要不可欠であり、住民と行政が協働してまちづくりに対する地区住民の合意形成を図る必要がある。こうしたこ

とをクリアすることができれば保存地区への選定の道が開けるものと考ええる。



▲高宮宿に設置された石碑



宿場町の鳥居本宿・
高宮宿は可能性はある

その他の質問

- ・医療事故調査制度とは
- ・医療事故と医療過誤（ミス）の違いは
- ・医療事故調査にかか
る日数は



金亀公園グラウンドでの
ホッケーは可能か



長崎 任男議員

Q 南中学校ホッケー部の練習場所の確保に対する具体的な対応は。

A 近隣の既存施設の活用を図りつつ、教育委員会としては、この春から再び城陽小学校を使用できるように学校、放課後児童クラブと調整している。引き続き来年度も民間施設等が利用できる予算を上程している。

Q 現在、基本計画を策定中の金亀公園の多目的グラウンドに人工芝の整備を検討いただいているが、このグラウンドでのホッケー利用は可能か。

A 金亀公園の多目的グラウンドにおける人工芝の仕様に

については、多目的の競技で利用できるものとして整備を検討しており、実現すればホッケーでの利用も可能となる。



▶人工芝が整備されたホッケー場
(市外での例)



整備を検討しており
実現すれば利用も可能

その他の質問

- ・地方創生加速化交付金の費用対効果は
- ・インバウンドをどうとらえるか
- ・WiFi環境の整備の進捗状況は



高齢化の進展に対応する救急体制は



奥野 嘉己議員

Q 高齢化の進展で救急搬送要請が増加傾向の中、救急隊が全隊出動となった回数。

A 過去3年間で45回である。全隊出動時にさらに救急搬送要請があった場合の対応は。

A 救急隊員資格を持つ消防隊員が消防車で出動し応急処置を行い救急隊へ引き継ぐ。

Q 救急隊の支援のために消防隊が出動となった回数は。

A 過去3年間で15回である。救急搬送が必要なかったと判断した、いわゆるタクシ

A 1代替利用件数および対応は。平成28年中の救急搬送人員5313人のうち、916人で約17%を占め、市として



消防隊による支援出場で救急体制を維持

適正利用の広報に努めている。**Q** 疑わしい利用には、事後に費用請求ができないか。**A** 国も検討はしているが結論が出ていない。国の結果を踏まえて判断する。



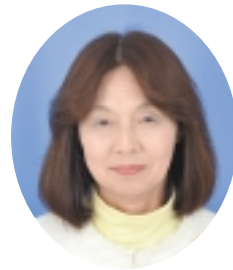
▲救急活動

その他の質問

- ・発災初期に対応する消防力整備について
- ・『消防力の基準』について
- ・車両機材の更新年数の延長について



児童手当等で子どもを貧困から救えるか



辻 真理子議員

Q 離婚後、未成年の子への養育費の支払いの状況は。

A 児童扶養手当受給資格者全体の約21%が養育費を受け取っておられる。

Q 児童手当の状況は。

A 児童手当の支給額は、3歳未満の児童は月額1万5千円、3歳以上小学校修了前の児童は月額1万円、(第3子以降は月額1万5千円)、中学生は一律月額1万円である。

Q 児童扶養手当の状況は。

A 対象児童1人の場合は月額約4万2千円、2人目の加算は1万円、3人目からの加算は6千円(全額支給の場合)。養育費と、児童手当、児



養育費や公的手当で十分とは考えていない

童扶養手当があれば子どもを貧困から救えるか。**A** 養育費は私的なもので、公的手当の両手当を足しても金銭面で子どもを貧困から救うのに十分とは考えていない。



▲各種手当のしおり

その他の質問

- ・長期的展望における市の施設の光熱水費のあり方について
- ・避難場所の電力供給体制は確立しているのか



市立病院で心臓の手術を。
分娩数の増加を



山内 善男議員

Q 私は市立病院の救急で診断の結果、救急車で市立長浜病院へ搬送、手術となった。同様に他病院へ搬送した年間件数と逆に受け入れた件数は。
A 27年度で他病院への搬送件数は101件、受け入れ件数は242件である。
Q 緊急を要す心臓の手術ができる体制整備をする考えは。
A 循環器内科は県内外とも中心的役割を担っているが、心臓血管外科は年間症例数から湖東・湖北圏で複数は必要ない。今後、医療圏を超えた医療構想の中で検討したい。
Q 産科再開で年間分娩数は。予定含め28年度100件。
Q 休止前年の18年度は。539件の分娩があった。今後の産科の展望は。29年度150件が目標。地域の中核病院として周産期医療の提供体制を構築していく。



▲彦根市立病院

A 医療連携はかる。
産科、中核病院の役割担う

その他の質問

- ・市民の命を守る消防・救急力の向上を
- ・稲枝駅西口開発の中に稲部遺跡を核にして、図書館と文化財センターの建設を



大雪災害時、
大久保市長は何をしていたか



北川 元気議員

Q 1月23日から25日にかけての大雪災害時、大久保市長はどこで何をしていたか。
A 24日は、朝から予算査定をしたのち、国への要望のため夕刻から上京した。25日は、朝から要望活動のため国土交通省などを訪問したが、彦根市内では積雪による混乱が続いており、要望は随行者に任せて彦根に戻り、15時から庁内で積雪対応について協議した。
Q 24日の上京する時点で大雪警報は出ていたか。
A 警報は出ていたが、解除される見込みであった。
Q 災害時、市長の役割は。災害応急対策に対処する

必要がある場合、災害対策本部を設置し、市長は本部長として情報収集、対応などの指揮をとることになる。



▶ 1月大雪災害時の完全に通行できなくすのき通り（県道）

A 国への要望のため
上京していた

その他の質問

- ・新市民体育センターについて
- ・有害鳥獣に負けない強い彦根を



アナーバー市と
姉妹都市締結50周年の取組は



矢吹 安子議員

Q 姉妹都市50周年記念事業に、戦前カナダへ渡航した子孫の方のことも考えた取組を。
A 50周年事業の計画は日米両市の協議となるため、カナダ関係者への明言は控える。

Q 本市と米国アナーバー市の中学生の相互派遣事業は長い歴史を持ち、併せてカナダトロント滋賀県人会との交流もしているが、派遣後の交流は。
A 個別にメールや家族ぐるみで交流をしている方もある。
Q 戦前まで実在した日系アマチュア野球チーム「バンクーバー朝日」には本市出身者が多く在籍。この活躍を描いた映画を機に「新朝日」として復活し、本市を表敬訪問された。朝日軍の記念の地として受け皿機関を検討しては。
A 特定の機関の設置は考えていない。行政と市民団体等と連携して交流に努めていく。



事業の計画は
日米両市で協議する



▲表敬訪問の様子といただいた記念品

その他の質問

- ・カナダトロント滋賀県人会のルーツについて
- ・彦根市立図書館101年のスタートとして
- ・彦根西高校の建物は



平田こども園の
開園に際しての懸案について



馬場 和子議員

Q スムーズな送迎のために第二園庭隣接の土地の利用は。
A 生活道路の渋滞緩和対策として有効であり、開園後の状況や園の運営状況を鑑みたくて検討していきたい。

Q 入園者の決定方法は。
A 定員を超える部門もあったが、抽選や利用調整を行い、入園者を決定した。
Q 保護者への説明会は。
A 継続園児・新入園児の保護者対象に複数回開催した。
Q 職員の確保の見通しは。
A 正規・臨時職員合わせて49人を予定しており、引き続き開園までに予定している体制をしっかり整えていく。
Q 園児数増加への対策は。
A 第二園庭のほか、南側の進入路に送迎用駐車場を確保するが、8月末までの工事期間中は平田町内の広場を臨時駐車場として準備している。



開園までにしっかり
予定の体制を整えていく



▲4月に開園した平田こども園

その他の質問

- ・公共施設の在り方について(市民会館・福祉センター・中央町飯庁舎・清掃センター・図書館・県立スイングセンター)





彦根市「データヘルス計画」の進捗状況は



中野 正剛議員

委託し、一人の方に対し同じ担当者が継続的にフォローすることで、指導開始から自己都合で中断する方が、平成27年度の20%から、今年度は7%と大きく改善されている。

Q ジェネリック医薬品への切り替え効果は。

A 差額通知を送った方の切り替え率は平成27年12月通知分で、22.6%となっており、金額としては平成23年12月からの累計で約6500万円の削減効果が出ている。

Q 特定健診受診率の向上は。

A 過去3年間の受診履歴や年齢階層によって勧奨方法を工夫した結果、計画策定以降、上昇傾向にあるものの、県内ではいまだ低位にある。

Q 特定保健指導後のフォローアップの強化は。

A 専門性の高い指導技術を有する業者に特定保健指導を



特定健診の受診率向上が現在の課題



彦根市「データヘルス計画」

その他の質問

- ・「18歳成人」が実現した時の悪徳商法に対する市の対応は
- ・「#7-119」導入の検討を



市の大型事業として着実な河瀬公園の整備を



野村 博雄議員

Q 辺道路の安全策も検討する。不審者等に対する防犯対策は。

A 公園を安全に安心して利用していただけるよう、防犯面へも配慮していく。

Q 河瀬公園の都市計画決定以来、公園予定地の数十名の地権者は4年以上自らの意思で土地活用もままならず種々の負担に耐えてこられた。その経緯や、市当局の「早く完成するよう努力する」とのこれまでの答弁を踏まえ、予算の確保と、誠意ある速やかな用地の取得が必要と考えるが。

A 現在、地権者への説明ならびに用地の買収を進めており、早期に完了できるように努力していく。

Q 公園の交通安全対策は。

A 今後設計を進める中で進入部や駐車場の配置につき安全性に配慮するとともに、周



▲河瀬公園基本計画平面図



早期完成を目指すとともに安全面にも配慮

その他の質問

- ・図書館整備計画と拠点図書館について
- ・審議会等での幅広い意見の十分な反映を顔の見える学校ホームページの作成を



電子母子手帳を導入してはどうか



小菅 雅至議員

Q 電子母子手帳を導入してはどうか。

A 母子健康手帳のICT化、いわゆる電子母子手帳の一番の機能は、子育てに関する幅広い情報を子育て世代の保護者に発信することであると認識している。来年度、必要な人に必要な情報が届くよう「スマホアプリ」の導入を予定しており、電子母子手帳の情報配信機能も果たしていけるものと考えている。

Q 福祉・医療分野の更なるICT活用について見解は。

A ICT技術は地域での顔の見える関係（ヒューマンネットワーク）が構築された環境があつてこそ機能が発揮されるため、現在取り組んでいる「ことう地域チームケア研究会」など多職種連携の中でICT活用の研究を図っていきたいと考える。



来年度のスマホアプリの導入で対応する



▲彦根市母子健康手帳

その他の質問

・旭森小学校、同幼稚園、同保育園の周辺環境整備についての市の見解は



「鎮守の森」の周辺部、植物園化を



夏川嘉一郎議員

Q 近年、鎮守の森の価値が見直されている。激しい開発の波にも耐え抜き唯一、生き残った深い森・緑のオアシス・伝統文化の拠点等として。まさに、今に生きる我々が次世代に守り継ぐべき貴重な自然レガシーではあるまいか。今、ある鎮守の森（河瀬神社）が変化の渦中にある。森の周辺部を削除し都市公園を造る話をすでに決定済とか。まず当局に問うが何故、不可解ともいえる選定をしたのか。

A 河瀬公園は周辺部の立地環境等を考慮したうえで適正に選定され、計画決定したもので、鎮守の森を損わず周辺を

植物園化すべきと考えるが、改めてその見解を問う。

A 神社林の機能を損うことなく鎮守の森を取り込み、一体的に活用して魅力ある公園づくりに取り組んでいきたい。



▲貴重な自然遺産・広大な河瀬神社林

その他の質問

・多世代同居・近居の推進は、地方創生の継続に不可欠では
市の総合計画に図案を多用する等の「見える化」が第一では



「鎮守の森」と二体活用で魅力ある公園に



彦根市民会館の
歴史的価値についての評価は



和田 一繁議員

利用状況や施設の老朽化状況などの現状と課題を分析し、ハード、ソフト、コスト面から整理を行ったうえで、施設の方向性を検討する。

Q 彦根市民会館の歴史的価値についての評価は。

A 彦根市民会館は、文化の殿堂あるいは市民の集いの場として、本市の最初の文化施設として、昭和39年6月に竣工した。以来、多くの市民の皆様が親しまれ、愛されてきた施設は、帝国ホテル新本館や高島屋日本橋店、上高地ホテルなどを手がけられた彦根市出身の建築家、高橋貞太郎氏によるものと認識している。

Q 彦根市民会館の使用継続についての見解は。

A 彦根市民会館の使用継続については、現在策定している文化施設個別計画において、



本市出身の建築家
高橋貞太郎氏によるもの



写真323 彦根市民会館
〔古勢要監修稿〕（昭和39年6月版）より。

▶彦根市出身高橋貞太郎氏が設計された彦根市民会館

その他の質問

・外国人観光客のニーズを捉えた情報発信と観光プロモーションは



日本語での学校生活に
不安がある子に支援を



谷口 典隆議員

A 学校現場における英語ができる教員で対応している。
Q 学校現場に任せきりでなく地域も含めた対応を求める。
A 市の関係する部局や社協と連携を図りながら対応する。

Q 彦根市立の幼稚園・保育所・小学校・中学校に通う、日本語を母国語とされない園児・児童・生徒の人数は。

A 園児が18名、児童が76名、生徒が42名で合計136名。

Q そのうち日本語での学校生活に支援を必要とされている園児・児童・生徒の人数は。

A 園児が11名、児童が67名、生徒が22名で合計100名。

Q 現状における支援内容は。

A 支援が必要な子どもの多くがポルトガル語、タガログ語であり会話のできる支援員を各小中学校に派遣している。

Q 英語しか話せない子どもがいるが、支援はないのか。



▲昨年8月に開催された「子ども多文化クラブ」の様子



学校に加え社協や関係部局が
連携し対応する

その他の質問

・当初予算での除雪経費増額の必要性は
・夢京橋の「厠」洋式化改修工事概要は
・中国湘潭市との経済分野での交流実現を

議会運営委員会 先進地視察報告

兵庫県西宮市議会では、資料閲覧システムの導入について視察を行った。導入後のメリットは、過去資料の閲覧が容易になり、会議中でも会議録の閲覧やインターネット検索が可能になったことや、一部資料のペーパーレス化・情報伝達方法の見直しによる経費節減である。広報広聴特別委員会では完全ペーパーレスを実行している。

デメリットは、議員のタブレット習熟度・順応度が異なり、活用頻度に差があることや、資料データの受理やアップロードに要する事務局の作業が少し増えた、とのことであった。

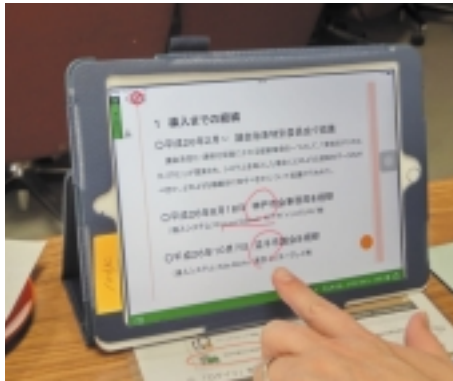
広島県呉市議会では、議会のICT化について視察を行った。導入により改善したことは、事務局の負担軽減や、全議員が同時に資料閲覧することが可能になり、課題の共有化が図れることである。また、議場における質問時の参考資料の掲示は、モニターに画像を映すことが可能となったとのことであった。

今後、本市議会でも議会のICT化を図る予定であり、視察結果を分析し、更なる研究を重ねていきたい。

1月12日 兵庫県西宮市議会
「資料閲覧システムの導入について」
1月13日 広島県呉市議会
「議会のICT化について」



▲モニターに資料等を掲示できる呉市議会の議場



▲西宮市議会のタブレット端末

広聴委員会 先進地視察報告

四街道市議会は、議会基本条例に基づき平成26年5月18日に第1回議会報告会を開催され、以降予算と決算の時期に合わせ、年2回実施されている。課題はやはり市民の参加率であり、参加呼びかけのポスターに力を注いでおられた。

袖ヶ浦市議会では、議会改革特別委員会が取りまとめた報告書において「議会の様子が市民に伝わっていない」との共通認識のもと、真に市民と向き合った意見交換会を模索され「カフェ・ド・ぎかい」と銘打った意見交換会が行われていた。この「カフェ・ド・ぎかい」はBGMが流れるリラククスした雰囲気の中でお茶やお菓子をいただきながら気軽に意見交換を行うワールドカフェ方式を採用して、今までに4回実施されている。本市と似通ったところもあるが、雰囲気作りの点で大いに参考となるところがあつた。

2月6日 千葉県四街道市議会
「議会の広聴活動について」
2月7日 千葉県袖ヶ浦市議会
「『カフェ・ド・ぎかい』について」



▲袖ヶ浦市議会の「カフェ・ド・ぎかい」を体験



▲四街道市議会での視察の様子



研修報告

議会基本条例の検証について

～滋賀県市議会議長会定例議員研修会～

1月20日14時から、あいの土山文化ホールにて平成28年度滋賀県市議会議長会定例議員研修会が開催された。県下から約300名の市議会議員が集い、講師に(株)地方議会総合研究所所長の廣瀬和彦氏を迎え、「議会基本条例の検証について」と題した講演を拝聴した。

すでに彦根市議会においても平成26年4月に議会基本条例を定めている。議会の機能強化、活性化を図り、さらなる議会改革を進めるためには基本条例を定期的に検証しなければならぬと感じた。今後あらゆる機会をとらえ、研さんに努めていきたい。

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成29年1月から3月までの状況についてお知らせします。

視察日	議会名	視察項目
1月18日	長野県下諏訪町議会	議会改革の取組について 議会開放の取組について
1月19日	滋賀県議会	地域公共交通の活性化に向けた取組について
1月27日	栃木県下野市議会	議会広報について
2月1日	静岡県藤枝市議会	中心市街地活性化について
2月3日	千葉県木更津市議会	学校支援地域本部事業について 生活困窮者支援・学習支援事業について
2月8日	茨城県結城市議会	彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画について
2月9日	熊本県玉名市議会	ひこね市文化プラザについて
3月29日	愛媛県新居浜市議会	彦根市景観計画について



彦根市議会では市民のみなさまに開かれた議会をめざし、Facebookを活用しています。本会議の日程をはじめ、行政視察受入内容や市議会主催の事業などの情報を発信しています。ぜひご覧ください。

なお、Facebookにコメントをいただきましたが、返信はいたしかねますのでご了承ください。

詳しくはFacebookコミュニティガイドラインをご覧ください。

彦根市HP → [市議会](#) → [Facebook](#) からもご覧いただけます。



3月18日に、国宝・彦根城築城410年祭が開幕し、多くの観光客に彦根にお越しいただいております。

表紙に掲載した開幕式典や2月定例会終了後に開催した全員協議会では、議員全員がそろいの法被を着用しました。市議会では、NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送を契機として、「おんな城主 直虎」で彦根を盛り上げる議員連盟を設立し、講演会や浜松市議会との交流を行い、合わせて410年祭のPRも行っています。期間中は、市民の皆さまとともに、大いに盛り上げてまいりたいと考えております。

5月の行楽シーズンを迎えます。市内各所で開催される各種のイベントに、ぜひお越しください。

プレイバック 城下町彦根シアター

2017年3月18日(土)～12月10日(日)



西の丸
三重櫓

彦根ええもん物産館

二の丸

2017年3月18日(土)～12月10日(日)



特産の近江牛や湖国ならではの佃煮、鮎寿司、和菓子、漬物、地酒、ひこにゃんグッズなど“Made in HIKONE”を一堂に集めて販売しています。

「おんな城主 直虎」スペシャル企画

大河ドラマに見る井伊家

—「花の生涯」から「おんな城主 直虎」まで—

2017年3月18日(土)～12月10日(日)

開国
記念館



編集後記

本号から全ページをカラー化することなどで、写真やグラフ等がより見やすくなりました。広報委員会では、市民の皆さまに親しみやすい紙面作りを工夫しておりますが、市町村議会広報クリニックで専門家による分析・助言ならびに、彦根東高校の新聞部の皆さんに「ひこね市議会だより」を読んでのご意見をいただいた結果、さらに改善すべき課題が見えてきました。

これからも改善を重ね、議会の情報を市民の皆さまにわかりやすくお伝えできる「ひこね市議会だより」を目指してまいります。

広報委員会



次の定例会は **6月**です

本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
6月5日(月)	開会	9:00
6月12日(月)	個人質問	9:00
6月13日(火)		
6月14日(水)		
6月15日(木)	予算常任委員会	9:30
6月16日(金)	企画総務消防常任委員会	9:30
6月19日(月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
6月20日(火)	市民産業建設常任委員会	9:30
6月22日(木)	閉会	9:00